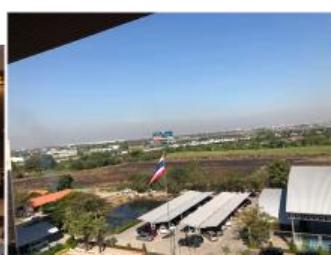


タイ王国海外研修(飯山高校)

～SDGsの観点から地球システム全体の課題を発見する～

ナワミントキヌチット・ベンジャマラガイ高校

～学校からの景色～



広い会議室で自己紹介や高校紹介をした。校舎内をまわっているときに声を掛けられたり、手を振ってくる生徒もいた。とてもフレンドリーですぐに打ち解けることができた。校舎はとても広く、ジェスチャーを交えながら会話もでき、楽しかった。



トイレの標識！

『世界一美しい伝統の踊り』を体験

手のしなやかさがポイントだと分かった。現地の子たちの動作はとて柔らかかった。また、踊りの前後に必ずお辞儀をするとのことで、礼儀を大事にしていることも分かった。



女子ラグビー
タイの代表選手に会いました！！



音楽の授業では、タイの伝統楽器を体験した。竹の楽器は振ると音が出るが、上手く音を出すには、コツが必要だった。

株式会社ジャパン・アグリチャレンジ・タイランド

最高品質のトマトをタイで現地生産、販売している会社の迫田昌さんにお話を伺った。

タイの高温多湿の環境下では美味しいトマトを作る事は難しいがタイ人がタイで生産した最高品質のトマト、「びじんトマト」を最も新鮮な状態でたくさんの人に届けたいと話してくれた。

日本とは異なる気候や技術でも挑戦を重ね、広げていくことはとても大変だが、これからのタイ農業と地域社会には必要なことだと思った。

日本ではトマトを栽培したことが無いのにタイで成功しているのは凄いなと思った。



地下1階、地上6階建ての巨大なショッピングモールだった。日本の野菜や果物が売っていたり、タイ限定のプリッツやコアラのマーチなどが売っていたり、とても楽しいお買い物だった。

Terminal 2 food court



マングローブ自然保護区

船に乗りマングローブ林へ行き植林体験や猿への餌やりをした。マングローブには様々な生物が住んでいた。植林をしている時、地面に無数の穴が空いていてそこには小さなサワガニがいた。また、泥の辺りでは泥の中を飛び跳ねる魚のような生き物がいた。猿の餌やりでは動物園かと思うほど沢山の猿がいて動物園より近くで猿を見る事が出来た。そして、猿が泳げることを初めて知った。沢山の生物が住んでいるマングローブですが、水面にプラスチックゴミなどが浮かんでいてゴミ問題が深刻なんだと実感した。また、住居がすぐ近くに沢山あり、船に乗りながら洗物をしている人もいて水質汚染の原因のひとつではないかとも思った。

セレブ御用達の高級デパート。トマト1パックが日本円で約600円！！
焼き芋はなんと1本3000円

(びじんトマトとトマトジュース)



甘くてとっても美味しかった！



(びじんトマトについてお話して下さった迫田昌さん)

カセサート大学

- ・始めに大学についての説明を英語で受けたり、学生さんと英語を交え話したりした
- ・バスで移動するほどの広大な敷地だった
- ・スポーツ系から理系、文系まで様々な学科がある
- ・カセサート大学に通っている人達は、自分たちが何をしたいのが明確でそれにすぐ集中していた
- ・日本の大学とも提携している
- ・植物園では種子保管用の冷蔵庫を案内してもらった
- ・魚の採血を体験することができた

魚の研究の様子



採血中！

魚を養殖しています



植物園の様子



生で植物をかじったりしました！

学生さんとの交流



移動の様子





(タイの街中の電線)

タイの電線はどこも上の写真のようで、下に落ちて人に感電しないか心配になるほどだった。

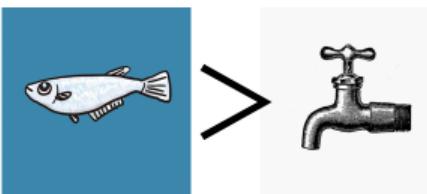
左の写真はタイで見られる光景。タイは日本と比べると電線が乱雑に張り巡らされていることが分かる。使わなくなった電線もそのまま残されているからだ。また、タイでは道路沿いや畑、川やマングローブに至る所にゴミが捨てられていた。



(チャオプラヤ川)

チャオプラヤ川の水質は他と比べてとても悪く、特にアンモニアの数値が物凄く高く、生臭い独特の臭いが印象的だった。

タイのホテルの水道水の水質と飯山高校のメダカの水槽の水質を比較したところアンモニアの数値以外全ての値がタイのホテルの水道水の水質の方が汚くて驚いた。



タイの水道管の老朽化を実感した。

気が付いたこと

タイの都心部は、凄く発展していて高速道路や浄水場やら、他にも沢山のことが新設してきている一方で、水道管の老朽化が進んでいることや、古くなった電線、ゴミ問題など、発展に追いついていない取り残されてる問題がたくさんあると感じた。

実際に自分の目で見ないと分からないことを沢山学ぶことが出来た。



(JICA監修・バンケン浄水場)



タイでは基本的に水道から水を飲むことが出来ない。当然利用する河川水は汚いが、浄水の技術は他の国からの支援のおかげもあってとても高く、浄水した後の水質は飲んでおいしいレベルである。水道水が汚くなる理由は、水道管の老朽化により各家庭の蛇口までいく間に汚くなるのである。

この浄水場は日本のODAで支援された東南アジア最大級の浄水場で、東京ドーム約24個分の広さがある。日本政府が1979年から浄水能力などの支援を行っている。ASEANの中でもトップレベルの技術があり、水漏れなどの調査をリアルタイムで無人探査機が行う。

浄水前と浄水後を比べると本当に綺麗になっていて、浄水技術の高さを実感した。



(タイの高速道路)

左の写真は朝の高速道路の写真。きちんと整備されていて、乗っていて揺れも少なく快適。ただし交通量が多く、夕方頃になると大渋滞してしまう。高速道路だけあって清掃もきちんとされていて綺麗だった。しかし、一般道はゴミが至る所に落ちていて、ゴミ問題の深刻さが伝わってきた。空に注目してほしい。私の感覚では少し空の色が日本と比べると朝にしては黄色がかっている。大気汚染の影響なのだろうか。

下の写真のように、バンコクには高層ビルや建設途中のビルが沢山あり、バンコクだけを見ると、発展途上国と言われているのが不思議に感じられた。



(建設中などのビル)

孤児院

(Human Development Foundation Mercy Center)

貧しい人々と一緒に立ちスラム街の隣人と協力し、毎日何千人もの貧しい人々の生活に触れ、シンプルで進歩的な解決策を生み出すことを目指している。

スラム街にあり家が多く少し路地に入ると家で経営している屋台が並んでいた。孤児院は大きく、ストリートキッズ、孤児、エイズになった子供たちがいた。言葉は通じなかったが折り紙やこま、けん玉をして交流した。

貧困問題についてまだ自分たちができることは少ないが今回訪問した孤児院だけでなく、世界中の貧しい子供たちの生活をより豊かにしたいと思った。そのために出来ることを探し、これから更に理解を深めていきたい。



(孤児院の子供と交流している様子)

(孤児院での昼食の様子)



ワットプラケオ

エメラルド寺院はとてもキラキラしていて綺麗だったし、偉い人が泊まる宮殿も見ることが出来て良かった。



ワットポー

巨大な金色の像は全長46メートル、高さ15メートルもある大きな像だった。この像の足裏には仏教の世界観を現した108の図が美しい螺鈿細工によって描かれていた。



ワットアルン(暁の寺)

塔を支えているようにいるものはたくさんいてよく見ると、一つ一つ表情が違っていった。また、天気が良かったため空と塔の相性がとても良くて写真をたくさん撮ってしまった。



たべもの

タイの料理は辛いものばかりだと思ったが、そんなことなく、美味しいものもあれば口に合わないものもあった。オクラジュースが赤かったり、フルーツが日本とは違う味がしたり、日本とは違うところを知ることが出来て良かった。



セブンイレブン



ナイトマーケット